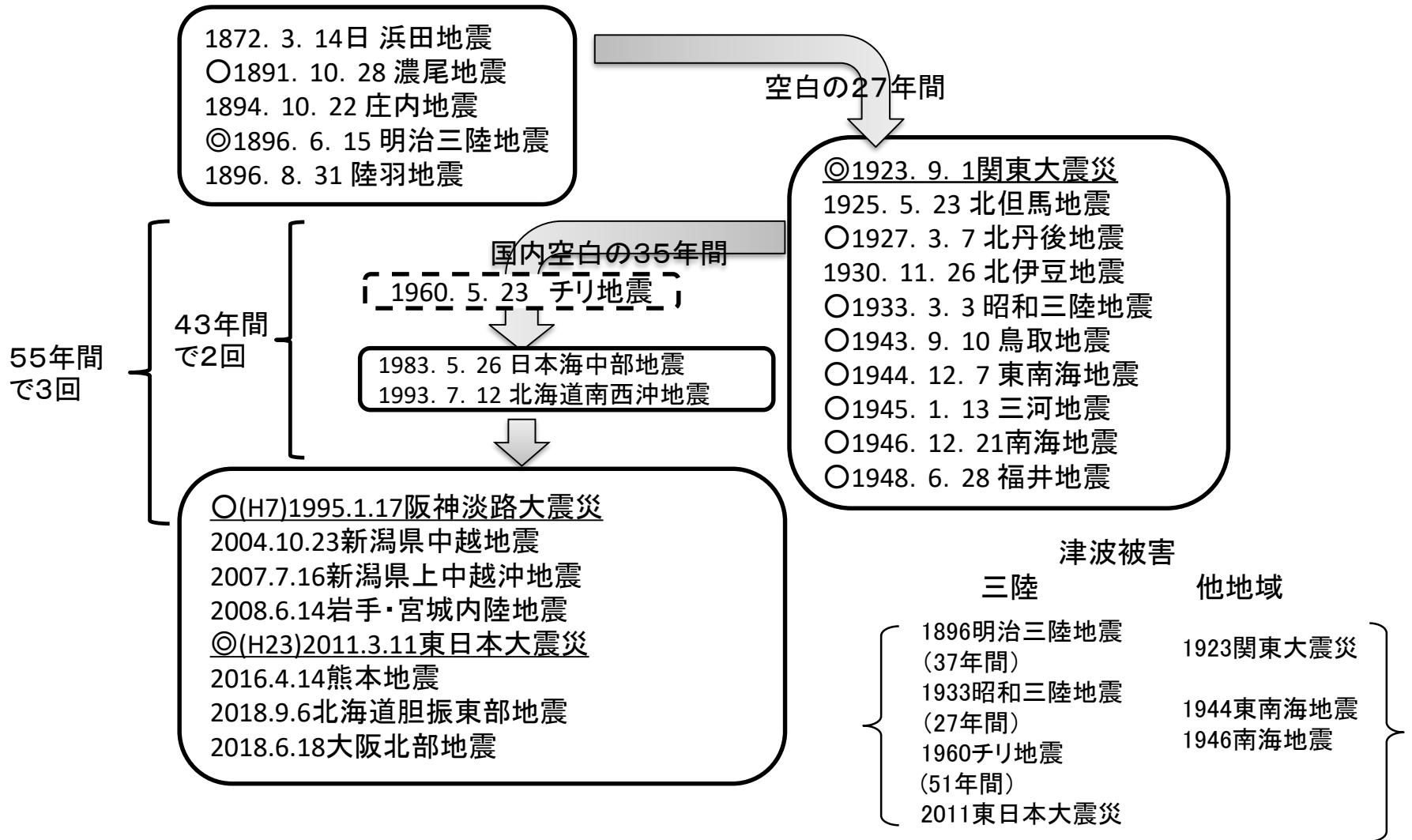


# 災害復旧事業の進捗と現在

厚生労働省医薬・生活衛生局  
水道課 熊谷和哉

# 被害地震(明治以降)

死者・行方不明100人以上 ○:1千人以上 ◎:1万人以上(気象庁)



# 災害をもたらした気象事例(気象庁)

昭和:死者・行方不明100名以上 平成:名称をつけたもの\*

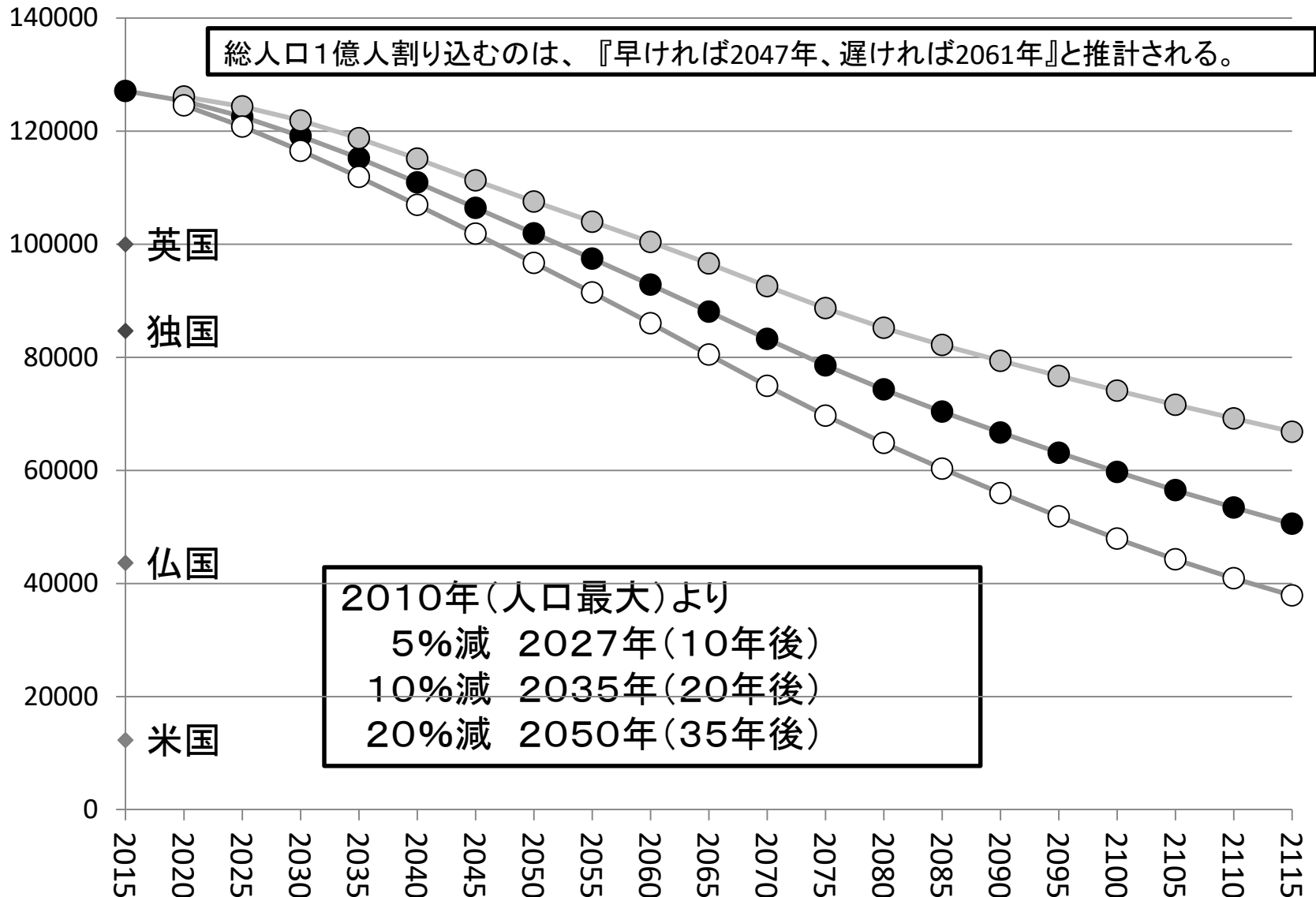
時期	回数 豪雨+豪雪	
(昭和) S20年代(1945-55)	19+0回	枕崎台風、カスリーン台風、洞爺丸台風等19回
S30年代	11+1回	伊勢湾台風、第2室戸台風等11回／昭和38年豪雪1回
S40年代	9+0回	第二、第三宮古島台風等9回
S50～63年	4+3回	沖永良部台風等4回／昭和52年豪雪等3回
(平成) H1～10	1+0回	平成5年8月豪雨
H11～20	3+1回	平成16年福井豪雨 平成16年新潟・福島豪雨 平成18年豪雪 平成18年7月豪雨
H20～	10+0回	平成20年8月末豪雨 平成21年7月中国・九州北部豪雨 平成23年7月新潟・福島豪雨 平成24年7月九州北部豪雨 平成26年8月豪雨 平成29年7月九州北部豪雨 平成30年7月豪雨 令和元年房総半島台風(台風第15号) 令和元年東日本台風(台風第19号) 令和2年7月豪雨

\*)顕著な被害(損壊家屋等1,000棟程度以上または浸水家屋10,000棟程度以上の家屋被害、相当の人的被害など)が発生し、かつ後世への伝承の観点から特に名称を定める必要があると認められる場合

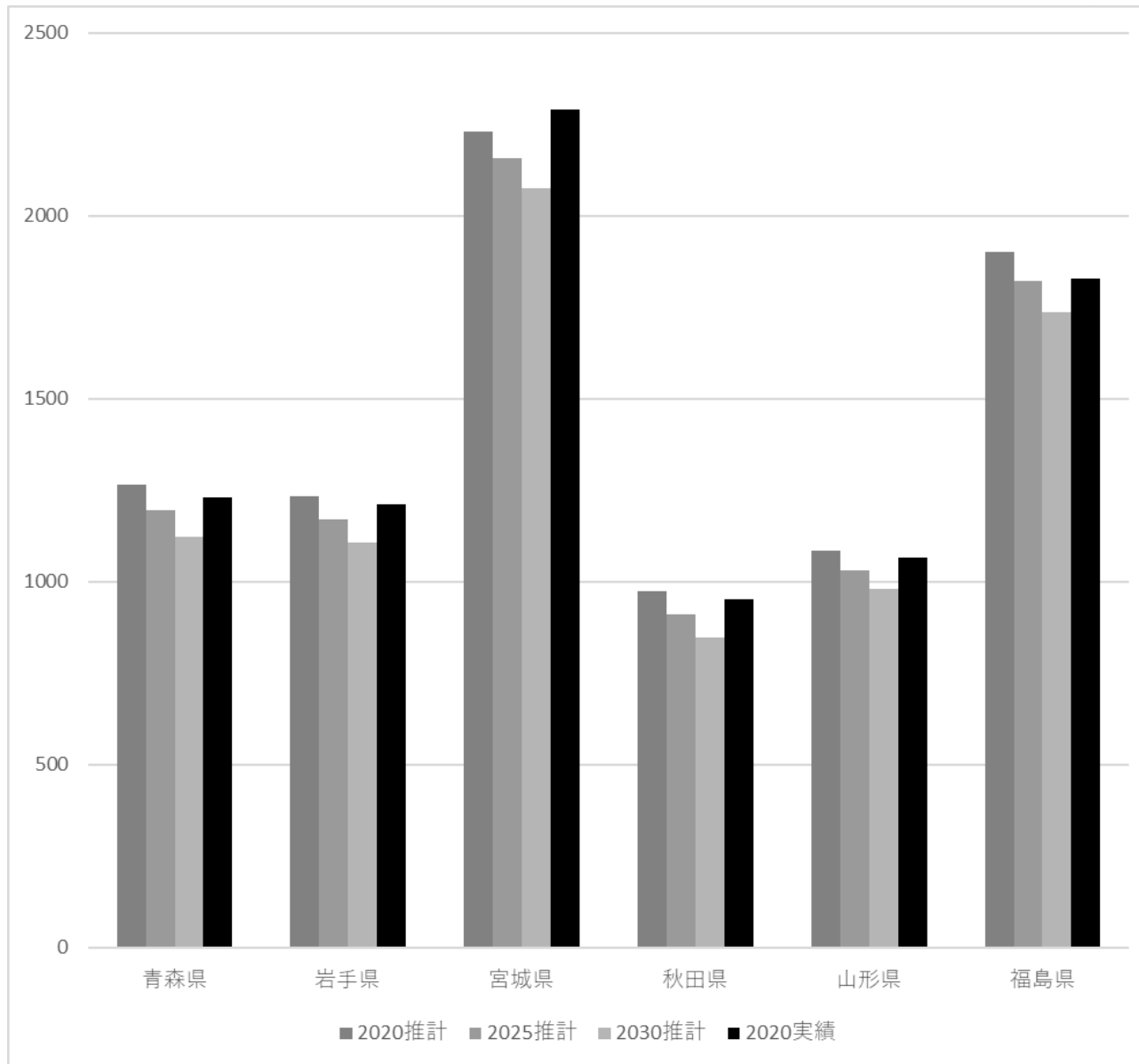
# 地震・豪雨災害・発生頻度の経緯

災害地震		豪雨災害	
1870～1900 (30年間)	5回 濃尾地震、明治三陸地震等		
1901～1920 (20年間)	0回		
1921～1950 (30年間)	10回 関東大震災、昭和三陸地震等		
1951～1990 (40年間)	1回日本海中部地震 (1960チリ地震)	1945～1955	19回 枕崎台風、カスリーン台風、洞爺丸台風等
		1956～1965	11回伊勢湾台風、第2室戸台風等
		1966～1975	9回第二、第三宮古島台風等
		1976～1990	4回沖永良部台風等
1991～2020 (20年間)	9回 北海道南西沖地震、阪神淡路大震災、東日本大震災等	1991～2000	1回平成5年8月豪雨
		2001～2010	5回中国・九州北部豪雨等
		2011～2020	8回九州北部豪雨、令和元年東日本台風等

# 人口推計(2015~2115)

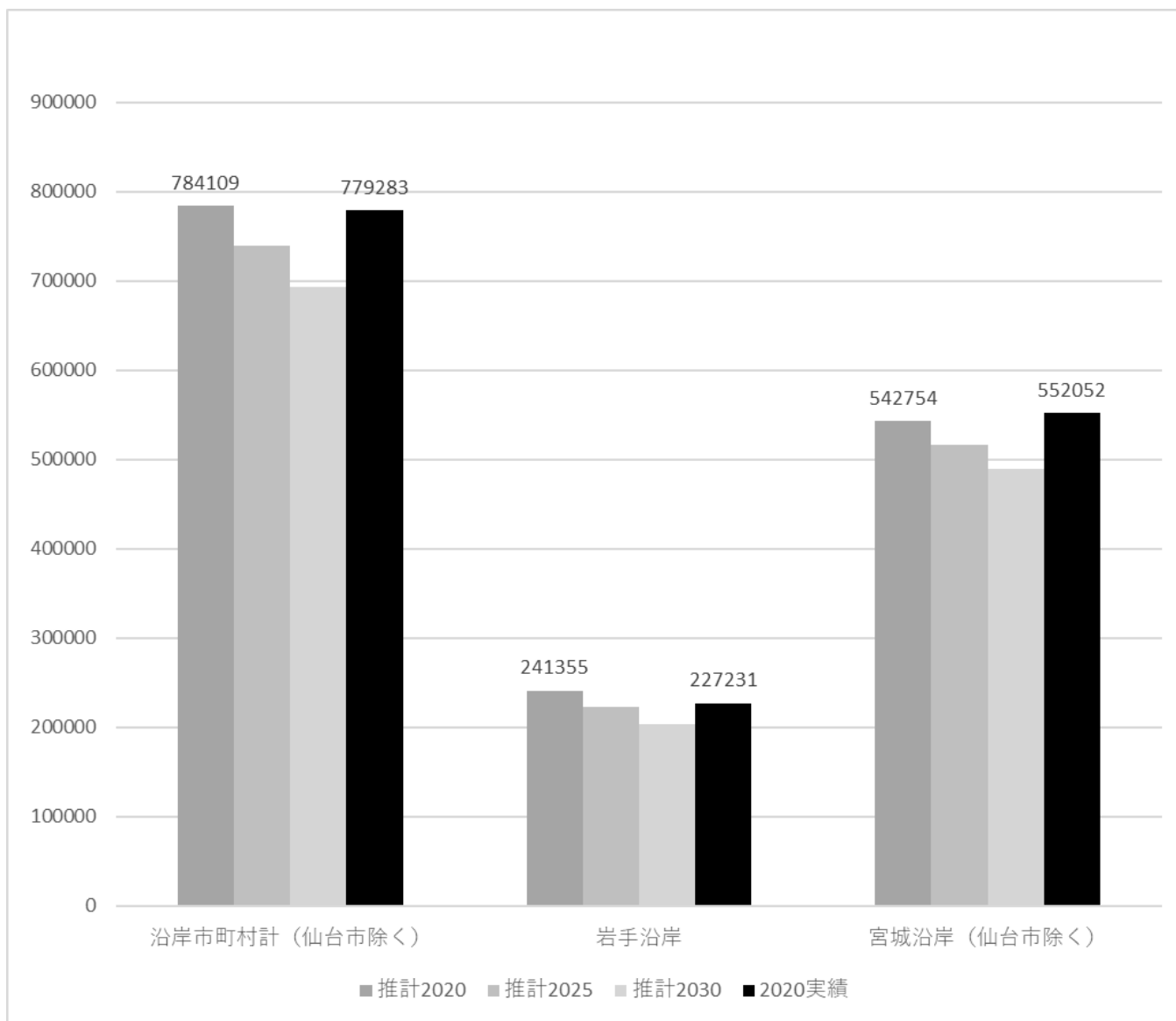


# 人口推計と2020実績

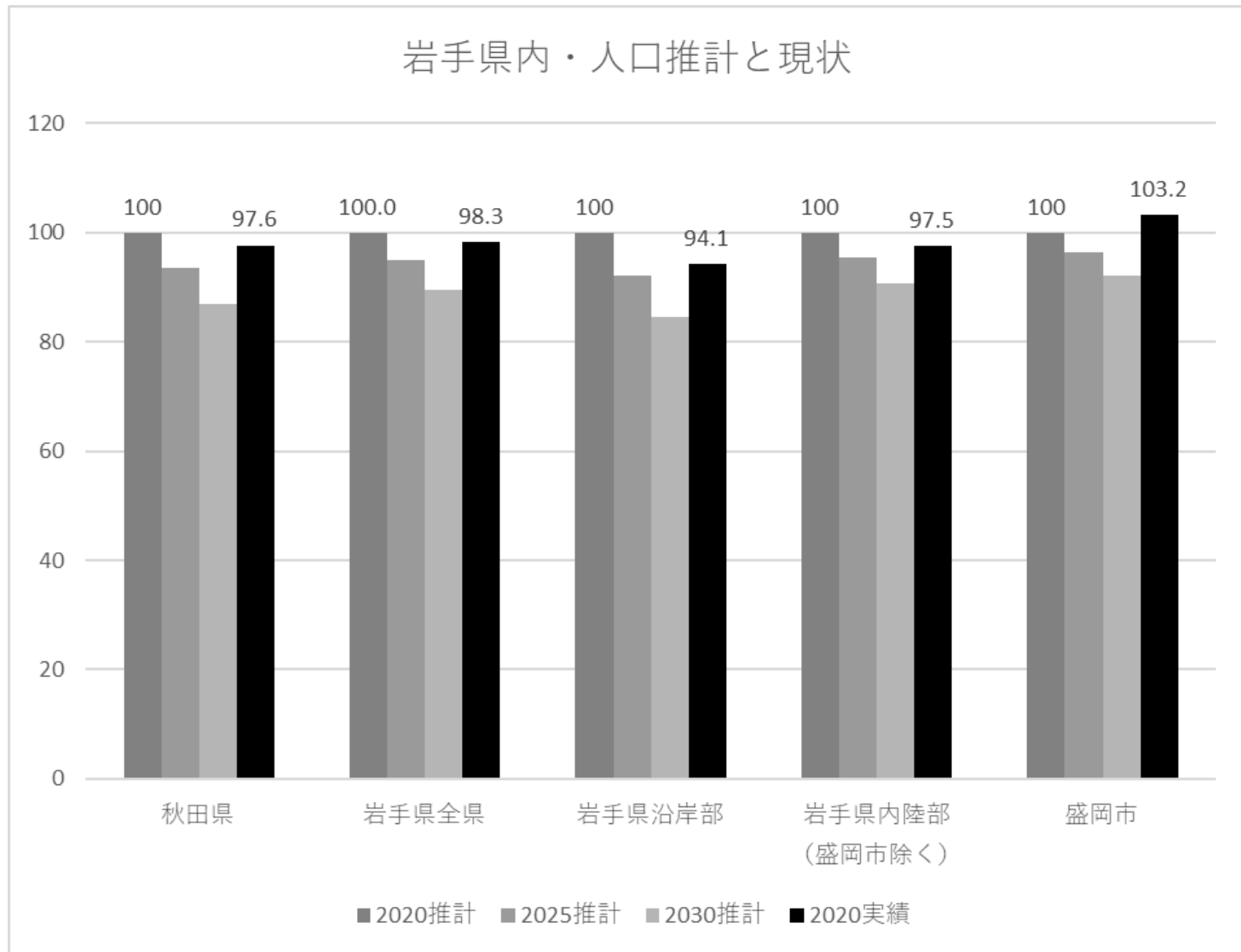


震災前の2005年ベースの人口推計(社会保障人口問題研究所)

# 人口推計と2020実績（沿岸被災地（岩手・宮城））

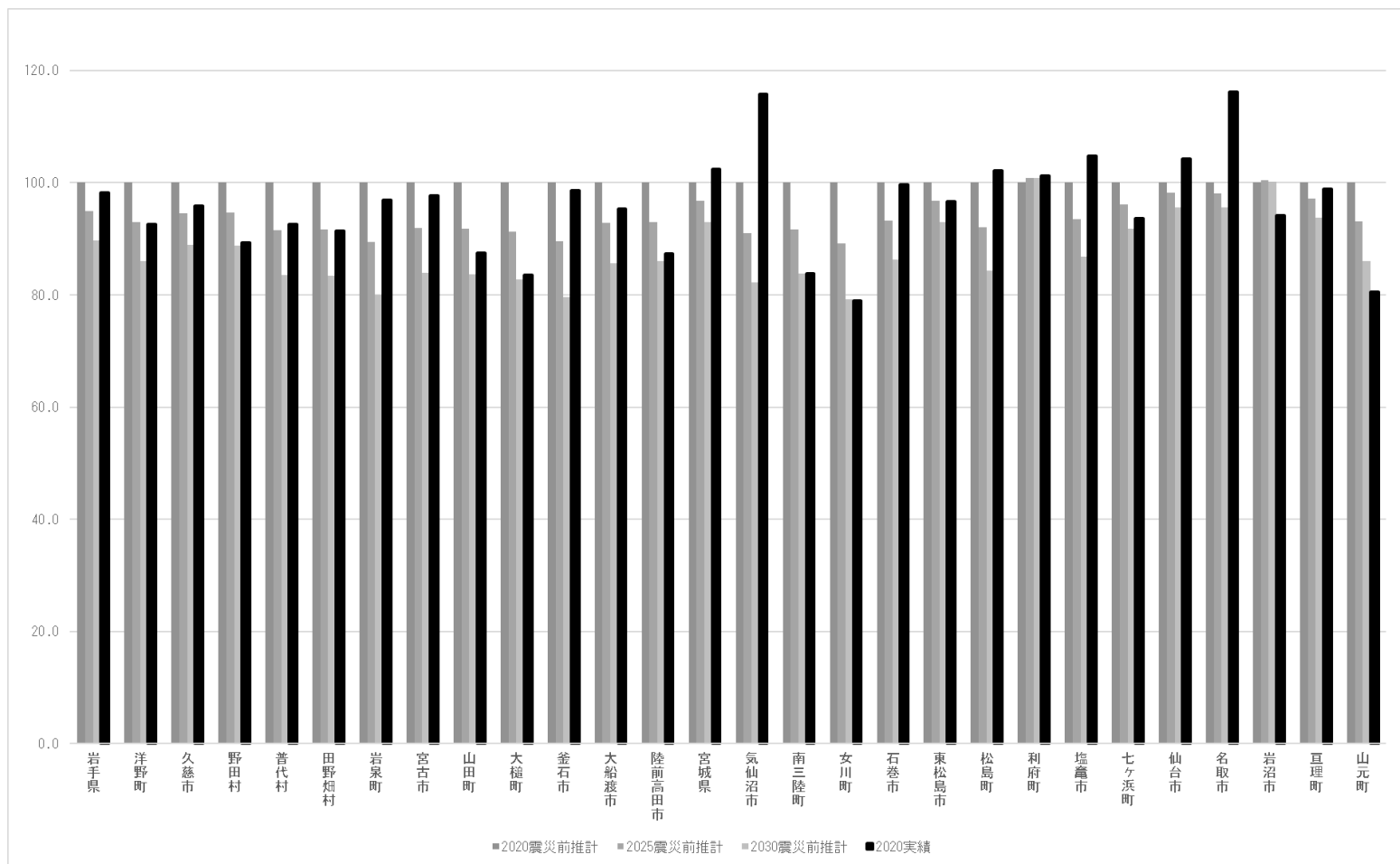


# 人口推計と2020実績（沿岸被災地②）

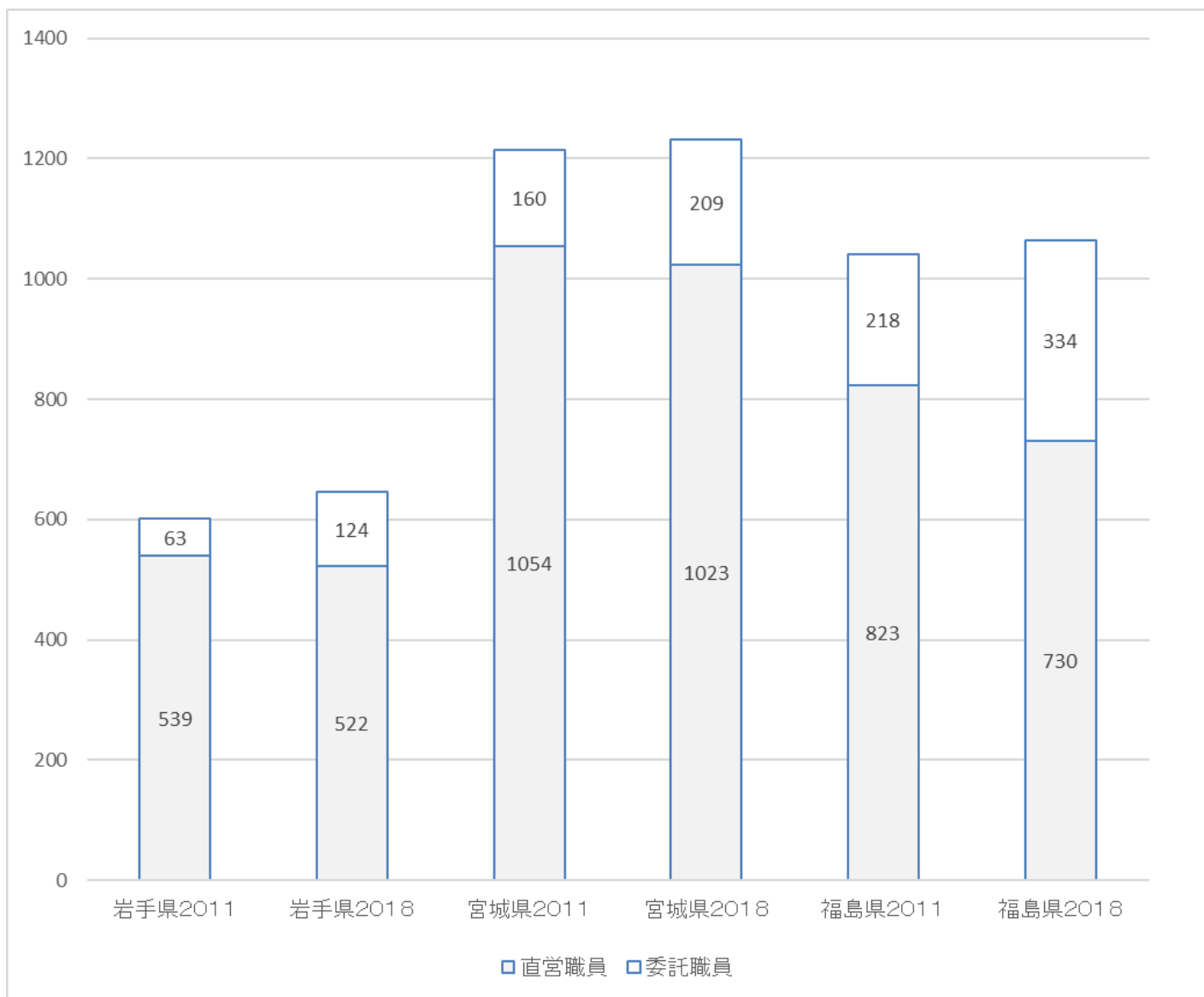




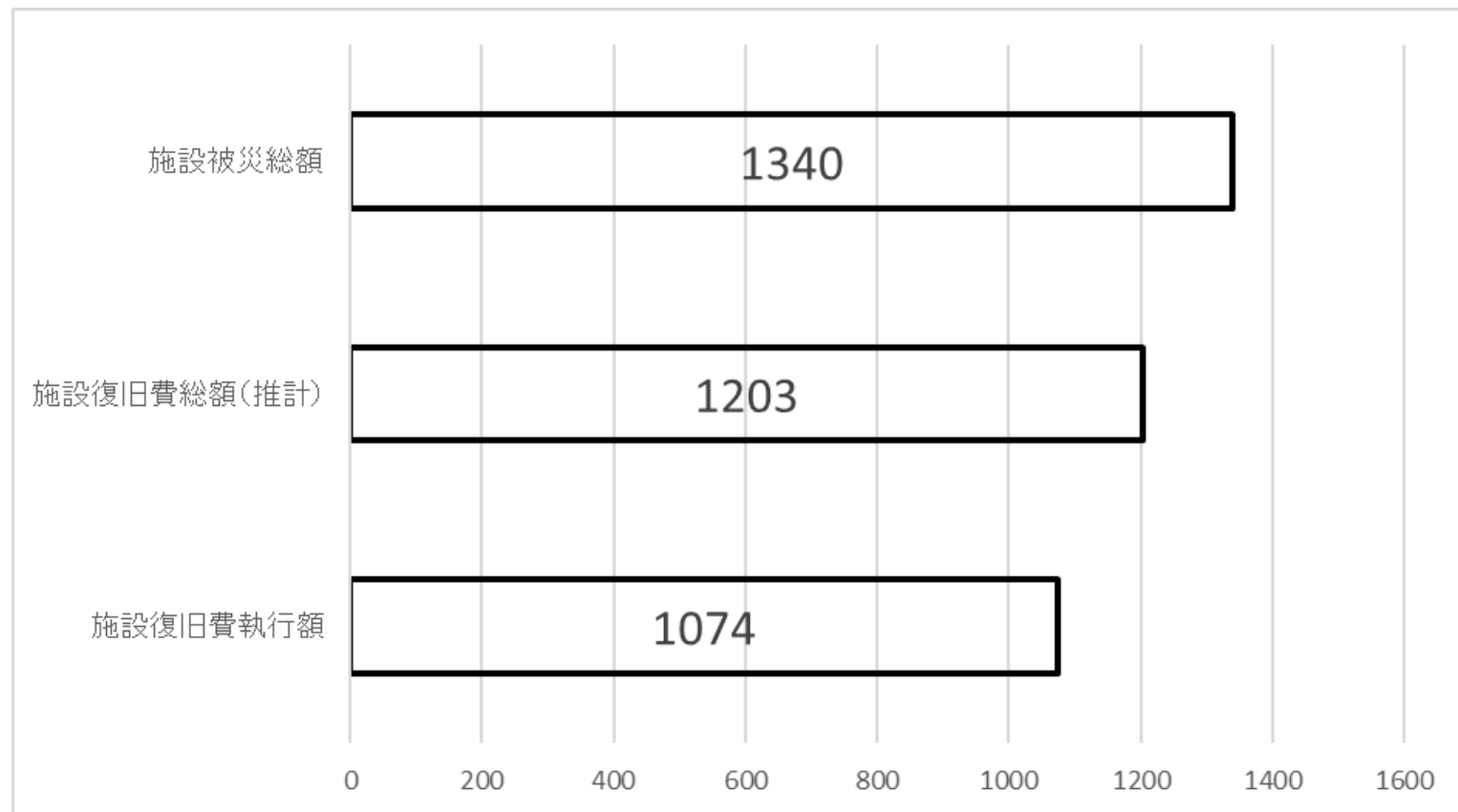
# 人口推計と2020年実績（沿岸被災市町村）



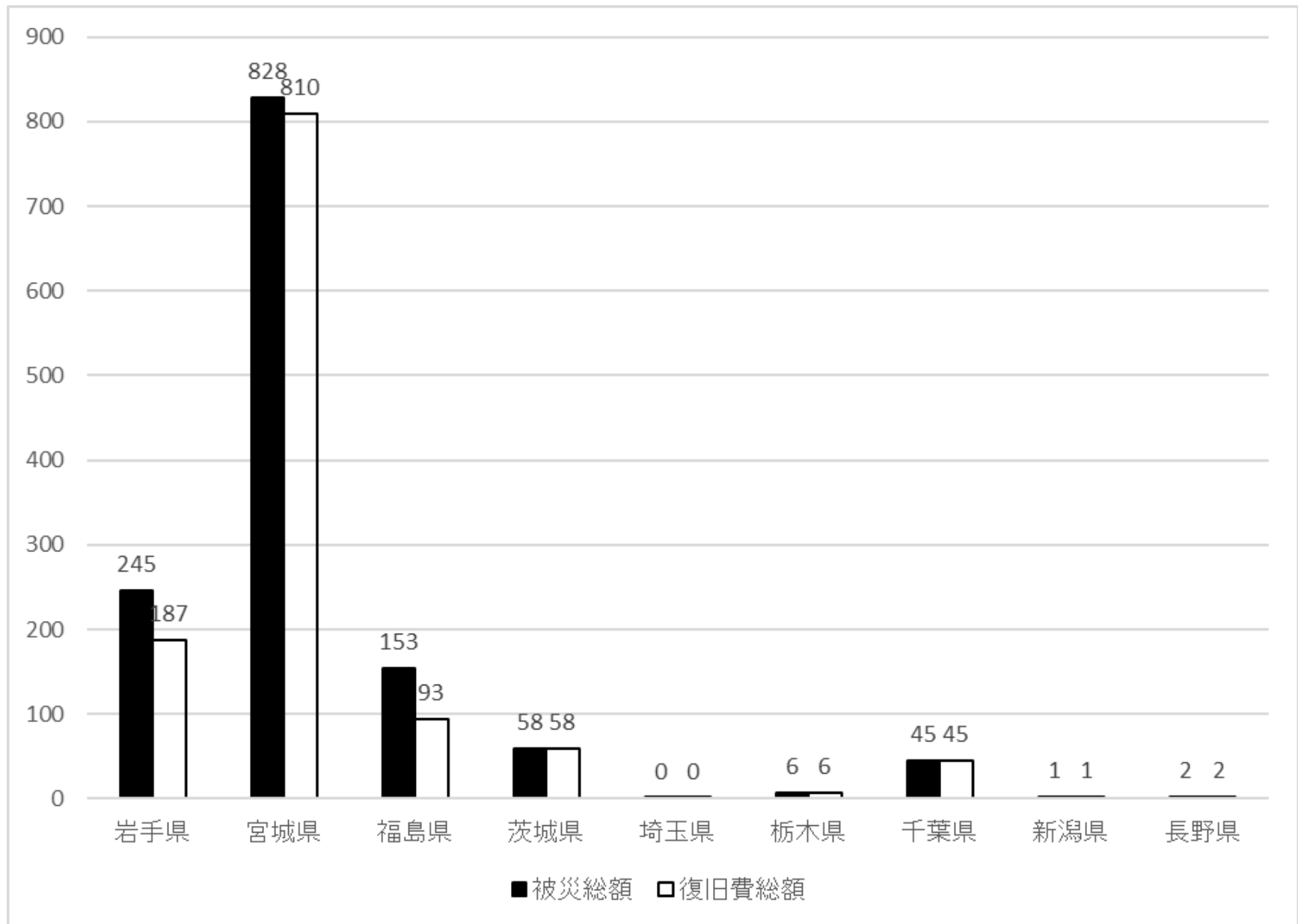
# 東日本大震災後の職員数の変化



# 東日本大震災の施設被災額と復旧費



# 東日本大震災の施設被災額と復旧費



# 東日本大震災の施設被災額と復旧費

	水道復旧費 ／被災額	概況
女川町	457%	簡易水道事業を中心に施設統廃合(6浄水場、10配水池等の廃止)、女川町中心部で、復旧計画値を4849→4357m3/日に変更見直しを行ったこと等 復興計画との整合により津波被災エリア以外の区域に水道施設の新設(鷲神浄水場の移転等)が必要となったもの
気仙沼市	187%	仮設配管・既設管撤去などの増額、管路の分割施工による費用上昇等。 緩速ろ過浄水場を膜処理浄水場へ変更
南三陸町	143%	高台移転等の計画の進捗において管路延長の増大が求められたこと 新規水源(井戸)と浄水場の新設・それに伴う送水系統の新設
大槌町	130%	ポンプ4施設、配水池2廃止、ポンプ施設2、配水池1新設、これに伴う送配水管の新設等
	水道復旧費 ／被災額	概況
野田村	49%	区画整理事業、都市公園事業により事業量が減少
大船渡市	48%	被災管路のうち廃止路線が発生したこと、損傷軽微で復旧不要路線があったこと(65760mの災害査定延長のうち48197mを除外)
宮古市	48%	防災集団移転促進事業等の活用による事業量の減少 被災区域の中で非居住域とされた地区がでたこと
仙台市	43%	津波被災区域で損傷軽微で復旧不要路線があったこと 被災区域の中で非居住域とされた地区がでたこと
いわき市	38%	震災復興土地区画整理事業等との関係から事業量が減少
山元町	19%	被災区域の中で非居住域とされた地区がでたこと
亘理町	12%	被災区域の中で非居住区とされた地区がでたこと